



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年8月9日

上場取引所 名

上場会社名 コムシード株式会社

コード番号 3739 URL <http://www.commseed.net/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 坂入 万弘

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部ゼネラルマネジャー

(氏名) 小倉 誠

TEL 03-5289-3114

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	196	△26.3	△68	—	△67	—	△67	—
24年3月期第1四半期	267	△8.9	5	△63.6	5	△63.4	4	△70.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△1,810.67	—
24年3月期第1四半期	121.61	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	578	454	78.4
24年3月期	692	521	75.3

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 454百万円 24年3月期 521百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	450	△13.7	△30	—	△28	—	△30	—	△803.56
通期	1,000	7.9	25	—	25	—	20	—	535.70

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「サマリー情報(注記事項)」に関する事項「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期1Q	37,500 株	24年3月期	37,500 株
----------	----------	--------	----------

② 期末自己株式数

25年3月期1Q	166 株	24年3月期	166 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	37,334 株	24年3月期1Q	37,334 株
----------	----------	----------	----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は添付資料3ページ〔(3)業績予想に関する定性的情報〕をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6
(5) セグメント情報等	6
(6) 重要な後発事象	7
4. 補足情報	8
(1) 販売実績	8
(2) その他	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間には、国内においてスマートフォンの普及が一層進む中、SNSプラットフォーム向けのソーシャルゲーム市場が引き続き拡大を続けており、当社にとっては追い風となっております。一方で平成24年5月にはいわゆる「コンプガチャ」が景品表示法の絵合わせに該当するとの見解が消費者庁より発表され、業界全体として消費者保護、市場の健全性を主眼に置いたさらなるシステム改善が求められる状況となっております。

このような状況のもと、当社ではモバイル端末向けのソーシャルゲームを中心とした事業展開を進めており、当四半期では、本年1月にサービスを開始した「グリパチ」を全キャリア対応、「不思議の森のパン工房」の対応プラットフォーム増加など、既存サービスの拡充に努めるとともに、新規サービスの開発を推し進めてまいりました。また、当社では直接的に「コンプガチャ」問題によって大きな影響を受けるアプリはないものの、本件を受け、既存・新規サービスともに、より利用者の視点に立ったゲーム内容へのブラッシュアップを実施しております。

以上の結果、当第1四半期累計期間における業績は、従来のフィーチャーフォン向け携帯公式サイト売上の落ち込みと、ソーシャルゲームの新たなサービスに向けた開発費の増加により、売上高は196,980千円（前年同期比26.3%減）、営業損失68,159千円（前年同期は営業利益5,869千円）、経常損失67,026千円（前年同期は経常利益5,854千円）、四半期純損失67,599千円（前年同期は四半期純利益4,540千円）となりました。

報告セグメントの業績及び事業におけるサービス分野別の主な取り組みは、以下のとおりであります。

なお、前事業年度より報告セグメントの区分を変更しており、前年同四半期との比較については、前年同四半期の数値を変更後の報告セグメントに組み替えて行っております。詳細は、「3 四半期財務諸表(5)セグメント情報等」に記載のとおりであります。

(モバイル事業)

- ①ソーシャルゲームについては、4月にグリー株式会社が展開する「GREE」で展開中のバーチャルホール「グリパチ」の全キャリア対応が完了し、新規のパチンコ・パチスロを投入しました。これらにより6月末の登録者数が38万人に達しています。また、「不思議の森のパン工房」が、6月に「GREE」スマートフォン版にてサービスを開始しました。これらの既存サービスの拡充と新規サービスの開発を推し進めたことにより、開発費は増加いたしました。
- ②スマートフォン関連については、4月よりiOS搭載スマートフォン向けに、スロットアプリ「キャッツアイ恋ふたたび」の提供を開始しました。また5月よりAndroid OS搭載スマートフォン向けにスロットアプリ「ねえ～ねえ～島娘」の提供を開始しました。また、当第2四半期に投入予定の新規タイトルの開発を進めました。
- ③フィーチャーフォン向け携帯公式サイトについては、ユーザーのスマートフォン移行により、売上が減少傾向であることから既存ユーザーの継続利用に向け、当社オリジナルのパチンコ・パチスロ総合情報サイトである「パチンコ倶楽部」において、パチンコ・パチスロの機種情報やそれらの攻略情報のさらなる充実化に取り組みました。また、メーカーオフィシャルサイトでは、パチンコ・パチスロの新機種導入時にタイムリーな情報提供を行い、サービスの拡充に取り組みしました。
- ④パチンコ店舗向けサービスでは、店舗向けASPサービス（有料店舗情報サービス）のラインナップ拡充、全国店舗への営業体制の強化を行いました。

この結果、当第1四半期累計期間における売上高は189,849千円（前年同期比29.0%減）、営業損失は16,555千円（前年同期は営業利益53,937千円）となりました。

(その他事業)

トライアル事業としてスタートさせたPC用オンラインゲーム「ダークエデン」については、他社とのタイアップ企画や新しい広告手法の取り組みにより、認知度向上とマーケティング体制の強化に努めました。

しかしながらこれらの取り組みは当第1四半期からの開始であり、実施効果を見極めるための小規模かつテスト的なものであったため売上向上には結びつかず、利益を獲得するには到りませんでした。

この結果、当第1四半期累計期間における売上高は7,131千円（前年同期はありませんでした。）、営業損失は6,940千円（前年同期はありませんでした。）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は444,560千円となり、前事業年度末に比べ106,172千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が93,612千円減少したことによるものであります。固定資産は134,400千円となり、前事業年度末に比べ7,766千円減少いたしました。これは減価償却によるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は91,895千円となり、前事業年度末に比べ45,879千円減少いたしました。これはその他が43,258千円減少したことによるものであります。固定負債は33,014千円となり、前事業年度末に比べ459千円減少いたしました。これは退職給付引当金が280千円、その他が179千円減少したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は454,050千円となり、前事業年度末に比べ67,599千円減少いたしました。これは四半期純損失の計上により利益剰余金が67,599千円減少したことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成24年5月11日の決算短信で公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による損益に与える影響はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	319,200	225,587
売掛金	123,947	117,940
商品及び製品	7,954	7,157
原材料及び貯蔵品	7,246	6,168
その他	92,404	87,715
貸倒引当金	△19	△8
流動資産合計	550,732	444,560
固定資産		
有形固定資産	40,825	37,538
無形固定資産	29,939	26,839
投資その他の資産		
その他	111,782	110,403
貸倒引当金	△40,380	△40,380
投資その他の資産合計	71,402	70,022
固定資産合計	142,167	134,400
資産合計	692,900	578,961
負債の部		
流動負債		
買掛金	55,818	55,357
未払法人税等	3,101	942
その他	78,855	35,596
流動負債合計	137,775	91,895
固定負債		
退職給付引当金	11,538	11,258
役員退職慰労引当金	19,329	19,329
その他	2,606	2,427
固定負債合計	33,474	33,014
負債合計	171,249	124,910
純資産の部		
株主資本		
資本金	568,883	568,883
利益剰余金	△29,877	△97,477
自己株式	△17,355	△17,355
株主資本合計	521,650	454,050
純資産合計	521,650	454,050
負債純資産合計	692,900	578,961

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	267,420	196,980
売上原価	163,387	152,593
売上総利益	104,032	44,387
販売費及び一般管理費	98,162	112,547
営業利益又は営業損失(△)	5,869	△68,159
営業外収益		
受取利息	18	10
業務受託料	—	1,125
その他	1	1
営業外収益合計	20	1,137
営業外費用		
支払利息	36	4
営業外費用合計	36	4
経常利益又は経常損失(△)	5,854	△67,026
特別損失		
本社移転費用	1,076	—
特別損失合計	1,076	—
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	4,777	△67,026
法人税、住民税及び事業税	237	572
法人税等合計	237	572
四半期純利益又は四半期純損失(△)	4,540	△67,599

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

当社は、携帯電話等のモバイル端末向けコンテンツの企画・制作・配信と関連するサービスの提供を行う単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第1四半期累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益計算書計上額 (注) 2
	モバイル事業	その他事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	189,849	7,131	196,980	—	196,980
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	189,849	7,131	196,980	—	196,980
セグメント利益又は損失(△)	△16,555	△6,940	△23,496	△44,663	△68,159

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△44,663千円は、主に管理部門に係る人件費及び経費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更に関する事項

当社は、従来モバイル事業の単一セグメントとしておりましたが、前事業年度より当社の取締役会にて、PC用オンラインゲーム事業をトライアルとして実施すべく、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための定期的な検討を行う対象として追加したことで、報告セグメントを「モバイル事業」と「その他事業」に区分変更しております。

なお、当該変更を反映した前第1四半期累計期間の報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報は、以下のとおりであります。

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益計 算書計上額 (注) 2
	モバイル事業	その他事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	267,420	—	267,420	—	267,420
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	267,420	—	267,420	—	267,420
セグメント利益又は損失(△)	53,937	—	53,937	△48,067	5,869

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△48,067千円は、主に管理部門に係る人件費及び経費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 販売実績

当第1四半期累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

なお、前事業年度より報告セグメントの区分を変更しており、前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後の報告セグメントに組み替えて行っております。

セグメントの名称	売上高 (千円)	前年同四半期比 (%)
モバイル事業	189,849	71.0
その他事業	7,131	—
合計	196,980	73.7

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. モバイル事業による主な販売先は、一般ユーザーであります。

3. モバイル事業は、各携帯電話キャリア及びプラットフォーム提供会社の情報料回収代行サービスを利用して一般ユーザーに有料情報サービスを提供するものであります。前第1四半期累計期間及び当第1四半期累計期間の主要な売上は、次のとおりであります。

相手先	前第1四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)		当第1四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	
	売上高 (千円)	割合 (%)	売上高 (千円)	割合 (%)
株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ	123,563	46.2	37,248	18.9
KDDI株式会社	63,280	23.7	39,602	20.1
グリー株式会社	—	—	23,920	12.4

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) その他

特記事項はありません。